

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 7月25日更新

事務事業名		民生・児童委員活動事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部
	施策	18	社会福祉の推進		所属課	福祉課
	基本事業	53	地域福祉の推進		所属班	社会福祉班
予算科目	会計一般	款3	項1	目1	事業連番10546	法令根拠 民生委員法
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		
						成果優先度評価結果 : ② コスト削減優先度評価結果 : ①

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	合志市民生委員・児童委員協議会連合会へ補助金を支出し、補助金は東部民児協議会・西部民児協議会それぞれに分配される。補助金は両民児協の活動費として利用される。昭和23年に民生委員法が制定され、協議会が設置された時点から事業は開始している。 ・合志市においても高齢世帯、ひとり暮らし世帯が増加してきている。 ・民生委員児童委員に対する要望が多岐にわたってきており、なかなか手が少なくなってきた。また年齢要件(新任65歳未満、継続75歳未満)があったがH19年度緩和された。(現在は原則として民生委員は75歳未満、主任児童委員は55歳未満) ・平成22年度に3年ごとの一斉改選が実施され、定数の見直しを行ったが手があらず、増員が出来なかった地区もあった。市南部地域での人口増が顕著なため平成25年度の一斉改選前にまた協議をすることが必要。 ・民生委員の職務は多岐に渡り、高齢化も進んでおりなかなか成り手が見付からない状況。平成19年度に年齢要件が緩和された。地域福祉計画が策定され、民生・児童委員の活動の期待が高まっている。安心生活創造事業により民生・児童委員の活動範囲も広がっている。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①合志市民生委員・児童委員協議会連合会から事業承認申請書を受理②審査③補助金の内示④補助金交付申請書を受理⑤補助金の交付決定、通知⑥概算払申請書を受理⑦補助金の交付⑧実績報告書を受理⑨補助金の確定、通知(合志市補助金等交付規則による)⑩県補助金申請事務⑪協議会定例会、役員会への参加(東部・西部とも24回)
【主な予算費目】	報酬・旅費・補助金
【意見や要望】	・協議会からは補助額を減額しないでほしい、増額を行ってほしいとの要望がある。 ・近隣市町村の補助金と比較して高い現状がある。 ・民生委員に対して無理な要望をする市民もあり、なり手の減少に拍車をかけているところもある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
民生・児童委員の活動に対し補助金を交付した。定例会・部会へ出席した。改選に向けて今後も地区割り、増員等の協議を継続して行く。	定例会への出席などを継続する。改選に向けて今後も地区割り等、増員等の協議は継続させていく。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア:申請・受付・交付決定・支払い・実績報告、処理時間	H 民生・児童委員補助金の増
イ:定例会・各部会開催回数	回
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
①民生委員児童委員協議会②民生委員児童委員	ア:民生委員児童委員数
	人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
①民生委員活動を円滑に行える②民生委員活動を円滑に行われるように、その活動に必要な知識を入手できる	ア:出席率
	%
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
出席率は両単位民協とも高い。実績から勘案して設定をした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込	
① 活動指標	ア	H	30	30	30	30	30	30	30	30	
	イ	回	12	12	12	12	12	12	12	12	
	ア	人	85	89	89	89	89	92	92	92	
② 対象指標	イ										
	ア	%	90	99	90	99	90	90	90	90	
③ 成果指標	イ										
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円		390	394	409	424	424	424	
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	一般財源	千円	9,048	8,540	8,800	8,757	8,927	9,067	9,347	9,347
		(A) 事業費計	千円	9,048	8,930	9,194	9,166	9,351	9,491	9,771	9,771
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	26	26	26	26
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正職員従事人数	人	2	2	2	3	2	2	2	2
人件費	延べ業務時間	時間	100	106	80	416	80	80	80	80	
	(B) 人件費計	千円	398	436	329	1,679	329	329	329	329	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	9,446	9,366	9,523	10,845	9,680	9,820	10,100	10,100	

事務事業名	民生・児童委員活動事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 病気等により若干の欠席があったが達成できた	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

今年度も各種研修を行った。円滑な活動が行えるようになった。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>引き続き研修や会議での事例発表を行っていく</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>25年度に改選が予定されている。多くの委員が退職すると円滑な運営が行えない恐れがある。</p>																						